

平成 30 年伊勢市観光客実態調査分析結果

【 調査の概要 】

《目的》

伊勢市を訪れる観光客の旅行目的、来訪手段、滞在種別（日帰り・宿泊）、立寄り箇所数、消費額、満足度等など行動実態に関する調査（観光客実態調査）を実施し、その特性、傾向等を分析することにより本市の観光の実態を明らかにし、本市の観光施策の効果的な推進を図る。

《調査日》

	調査日
1期	平成 30 年 3 月 31 日（土）
2期	平成 30 年 7 月 21 日（土）
	平成 30 年 8 月 25 日（土）
3期	平成 30 年 10 月 27 日（土）
4期	平成 30 年 12 月 8 日（土）

《調査方法》

本市内の調査地点を訪れた観光客を対象に、調査員による「対面聞き取り調査」を行った。

《調査地点》

下記の 4 地点。

- 外宮周辺（外宮前広場）
- 内宮周辺（おかげ横丁）
- 二見（二見浦公園駐車場）
- 河崎（河崎商人館周辺）

《調査対象》

調査地点を訪れた観光客を対象とし、市民を除外しない。（分析以降は市民を除外する。）
外国人観光客を対象としない。

【 分析結果の見方 】

- ・構成比は、回答者数の合計を 100.0%として算出し、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、構成比の合計は 100.0%とならない場合がある。
- ・「市内宿泊」とは伊勢市内のみと伊勢市内・市外で宿泊した人の合計、「市外宿泊」とは、伊勢市外のみで宿泊した人を指す。
- ・グラフ内の数値は、分析に必要なもの以外は省略している場合がある。

【 調査結果の概要 】

《観光入込客数及び観光消費額の算出方法》

◎観光入込客数（宿泊）の算出方法

■ 宿泊施設利用者延べ数（「平成 30 年伊勢市観光統計」より）

区分	宿泊者数
伊勢市（二見町を除く）宿泊者数	546,072 人
二見町宿泊者数	172,152 人
合計	718,224 人

■ 平均宿泊数（「平成 30 年伊勢市観光客実態調査」より）

区分	市内宿泊者数	平均宿泊数
伊勢市内宿泊客	362 人	1.16 泊

■ 観光入込客数（宿泊）

宿泊施設利用者延べ数 718,224 人 ÷ 平均宿泊数 1.16 泊

= 観光入込客数（宿泊） 619,159 人

◎観光入込客数（日帰り）の算出方法

■ 観光地点立ち寄り延べ数（「平成 30 年伊勢市観光統計」より）

平成 30 年の伊勢市内 21 観光地点の立ち寄り数（入込客数） 17,642,901 人

※伊勢市内 21 観光地点：月夜見宮、伊勢神宮 外宮、せんぐう館、猿田彦神社、月読宮、おかげ横丁・おはらい町、伊勢神宮 内宮、倭姫宮、神宮美術館、神宮徴古館・農業館、伊勢河崎商人館、松尾観音寺、二見浦海水浴場、賓日館、二見興玉神社/夫婦岩、伊勢夫婦岩ふれあい水族館シーパラダイス、伊勢夫婦岩めもと横丁、民話の駅 蘇民、伊勢安土桃山城下街、金剛證寺、郷の恵・風輪

■ 観光地点平均立ち寄り箇所数

伊勢市内 21 観光地点に対する日帰り客及び宿泊客の平均立ち寄り箇所数

区分	対象者	平均立ち寄り箇所数
日帰り	1,320 人	2.81 箇所
市内宿泊	362 人	3.83 箇所

■ 観光客入込客数（日帰り）

{観光地点立ち寄り延べ数 17,642,901 人 – (観光入込客数（宿泊） 619,159 人

× 宿泊客（伊勢市内）観光地点平均立ち寄り箇所数 3.83 箇所）}

÷ 日帰り客観光地点平均立ち寄り箇所数 2.81 箇所 = 観光入込客数（日帰り） 5,434,705 人

◎観光消費額の算出方法

■市内平均消費額

区分		宿泊費	土産代	飲食費	入場料	その他	交通費	パック 代金	総額
日帰り	消費額	—	2,907円	3,462円	114円	69円	1,150円	274円	7,976円
市内宿泊	消費額	10,904円	4,855円	5,904円	193円	13円	1,746円	536円	24,151円

※パック代金（市内分）はパック代金（市外分含む）の20%

■観光消費額の算出

観光客入込客数に平均消費額を乗じて観光消費額を算出

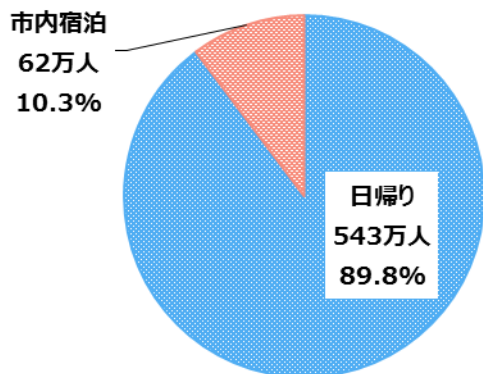
区分	観光入込客数	平均消費額	観光消費額
宿泊	619,159人	24,151円	149.5億円
日帰り	5,434,705人	7,976円	433.5億円
合計	6,053,864人	-	583.0億円

1. 観光入込客数（推計）

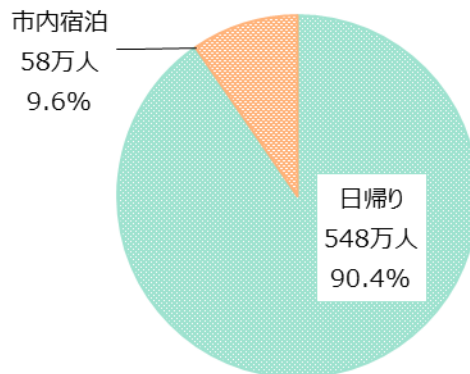
・平成30年の観光入込客数は605万人（対前年比99.8%）

市内宿泊は、前年よりも4万人増加したが、日帰りが5万人減少した。

平成30年観光入込客数
（合計605万人）



平成29年観光入込客数
（合計606万人）

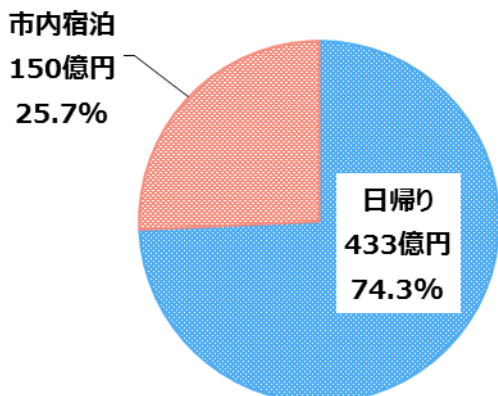


2. 観光消費額（推計）

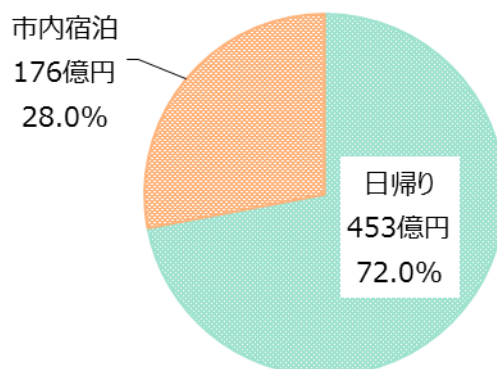
・平成30年の観光消費額は583億円（対前年比92.7%）

宿泊が前年よりも26億円、日帰りが前年よりも20億円、それぞれ減少した。

平成30年観光消費額
（合計583億円）



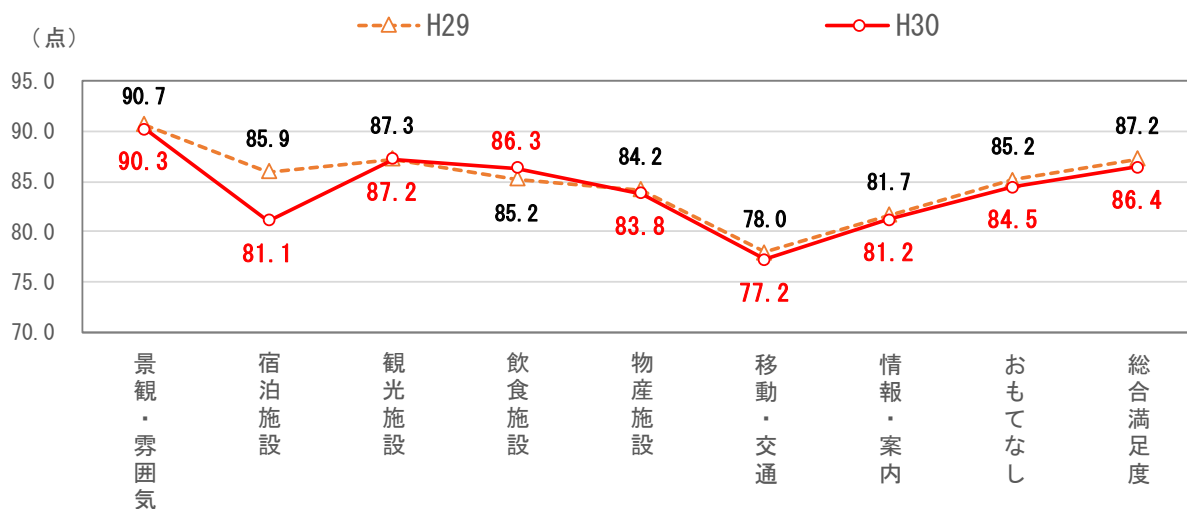
平成29年観光消費額
（合計629億円）



3. 観光客満足度

・満足度は「飲食施設」のみ平成 29 年を上回っている

伊勢市観光の満足度は、「景観・雰囲気」が最も高く 90.3 点、「移動・交通」が最も低く 77.2 点。
平成 29 年と比べると、「飲食施設」以外の全ての項目で満足度が低くなった。



4. 観光客の属性

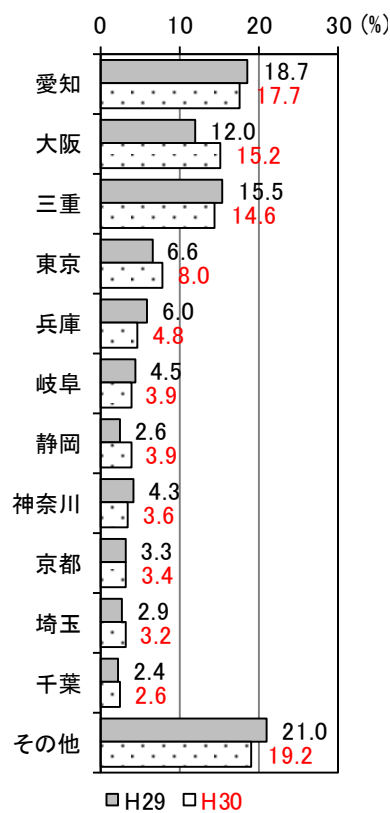
- ・居住地は「愛知」、「大阪」、「三重」の順で多く「北陸・中部」が4割、「近畿」が3割
- ・20歳代以下の観光客が増加している
- ・友人との来訪、職場・学校・自治会等の団体が増加している

①居住地

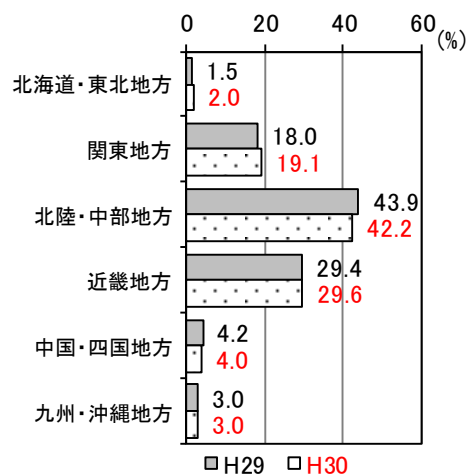
都道府県別では「愛知県」が最も多く17.7%、次いで「大阪府」が15.2%、「三重県」が14.6%の順。

地方別では、「北陸・中部地方」が最も多く42.2%、次いで「近畿地方」が29.6%、「関東地方」が19.1%。

■居住地（都道府県別）



■居住地（地方別）



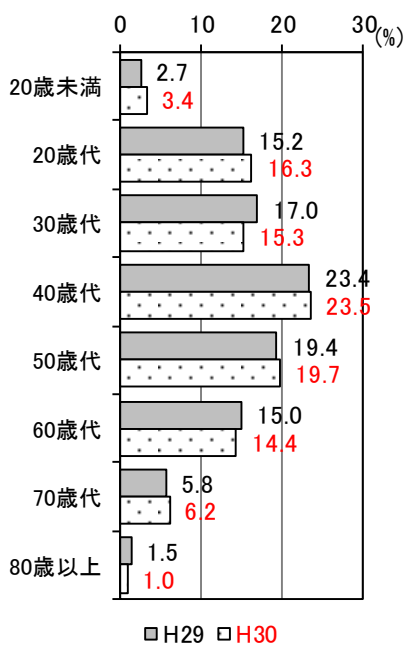
②年齢

「40 歳代」が最も多く 23.5%、次いで「50 歳代」が 19.7%、「20 歳代」が 16.3%と続いている。
平成 29 年と比べると、「20 歳代」が 1.1 ポイント増加。

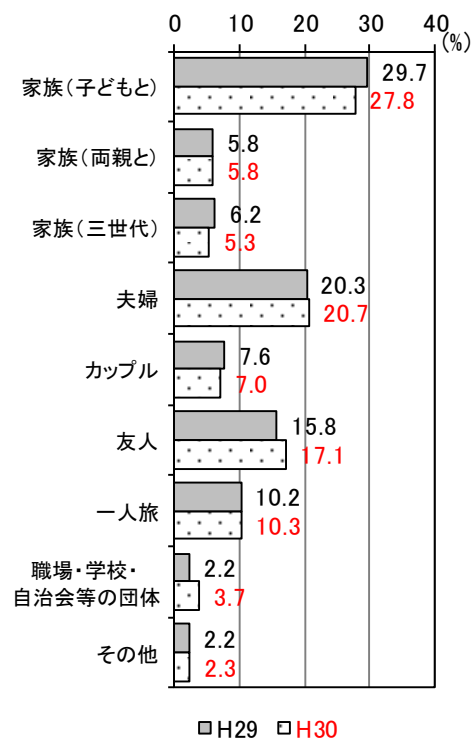
③同行者の種類

「家族（子ども）」が最も多く 27.8%、次いで「夫婦」が 20.7%、「友人」が 17.1%と続いている。
平成 29 年と比べると、「家族（子ども）」が 1.9 ポイント減少し、「友人」が 1.3 ポイント、「職場・学校・自治会等の団体」が 1.5 ポイントそれぞれ増加している。

■ 年齢



■ 同行者の種類

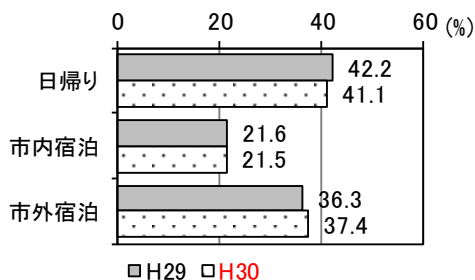


5. 旅行行程

・ホテル、実家や知人・親戚宅の宿泊が増加している

① 宿泊/日帰り

平成 29 年と比べると、「日帰り」が 1.1 ポイント減少し、「市外宿泊」が 1.1 ポイント増加している。



② 宿泊施設

伊勢市内で宿泊する人の宿泊施設の種類は多い順に、「ホテル」が最も多く 53.6%、次いで「旅館」が 37.8%、「実家や知人・親戚宅」が 5.8%。

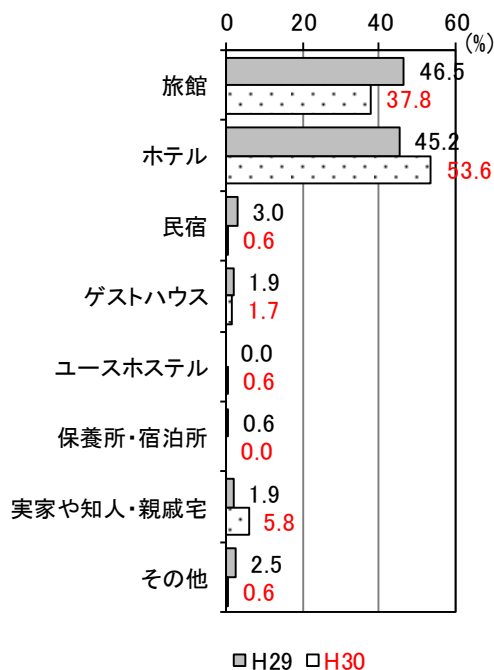
昨年までは、「旅館」の割合が「ホテル」を上回っていたが、30 年は逆転した。

③ 利用した交通機関

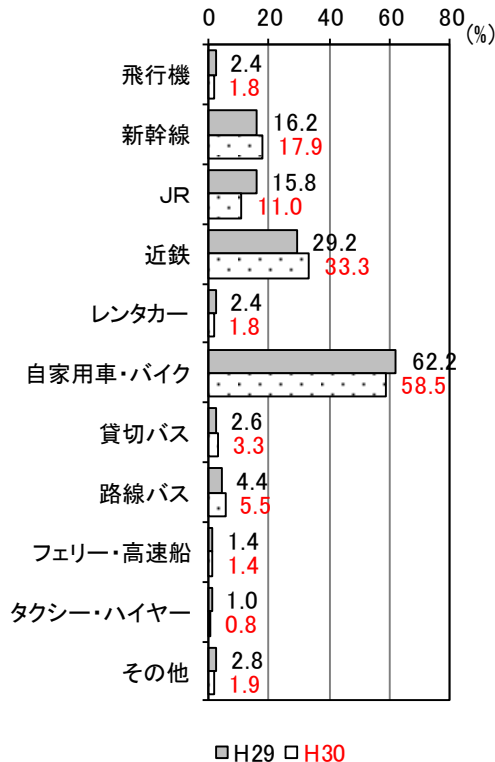
平成 29 年と同様、自家用車・バイクの利用が多い傾向にある。

平成 29 年と比べると、「自家用車・バイク」が 3.7 ポイント減少し、「近鉄」が 4.1 ポイント増加した。

■ 宿泊施設



■ 利用した交通機関



6. 伊勢市を選んだ理由

- ・平成 29 年と同様、4 回以上訪れているリピーターが約 6 割
- ・伊勢市を選んだきっかけについて、「自分の意思以外」、「テレビ」の割合が増加
- ・旅行目的について「参拝」、「おいしいものを食べる」が減少

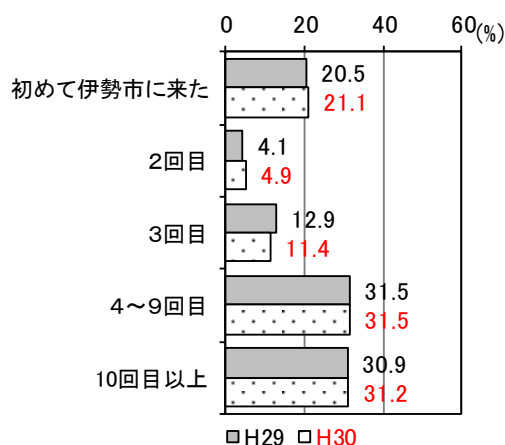
①訪問回数

「4～9 回目」が最も多く 31.5%、次いで「10 回以上」が 31.2%、「初めて伊勢市に来た」が 21.1%。
4 回以上訪れているリピーターが約 6 割、なかでも 10 回以上訪れているヘビーリピーターは約 3 割。

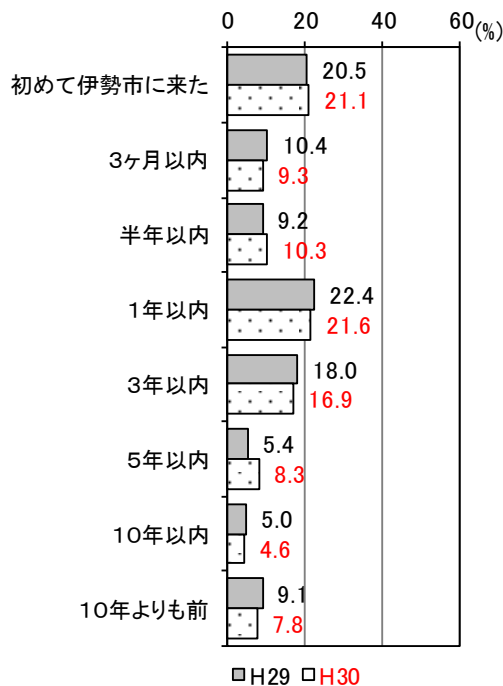
②前回の訪問時期

「（半年を越え）1 年以内」が最も多く 21.6%、次いで「初めて伊勢市に来た」が 21.1%となっている。
1 年以内に来訪する観光客は 40.6%で、4 割を超えている。

■ 訪問回数



■ 前回の訪問時期



③伊勢市を選んだきっかけ

「以前来てよかった」が最も多く44.7%。

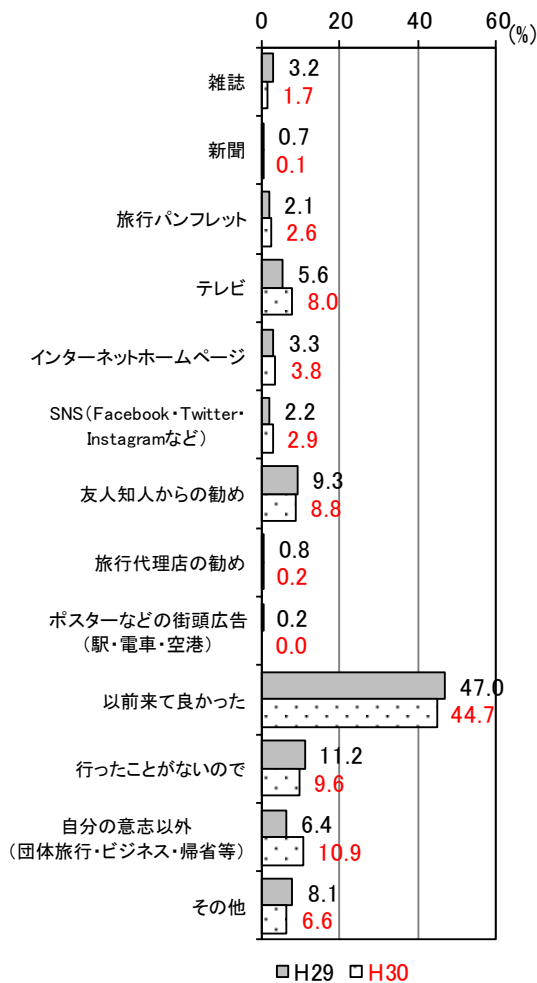
平成29年よりも、「自分の意志以外（団体旅行・ビジネス・帰省等）」が4.5ポイント、「テレビ」が2.4ポイントそれぞれ増加している。

④旅行目的

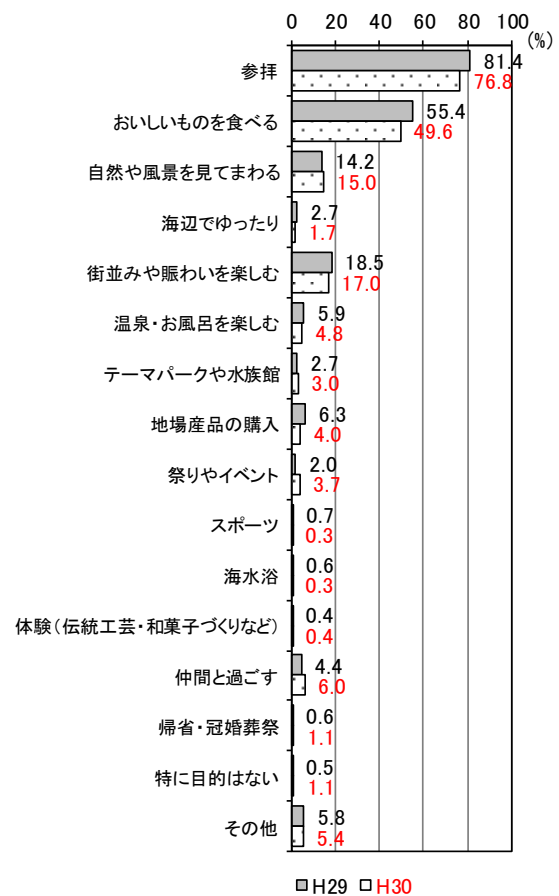
「参拝」が最も多く76.8%で約8割、「おいしいものを食べる」が49.6%で約5割。

「参拝」と「おいしいものを食べる」は、平成29年よりも約5ポイント減少している。

■ 伊勢市を選んだきっかけ



■ 旅行目的



7. 観光目的地

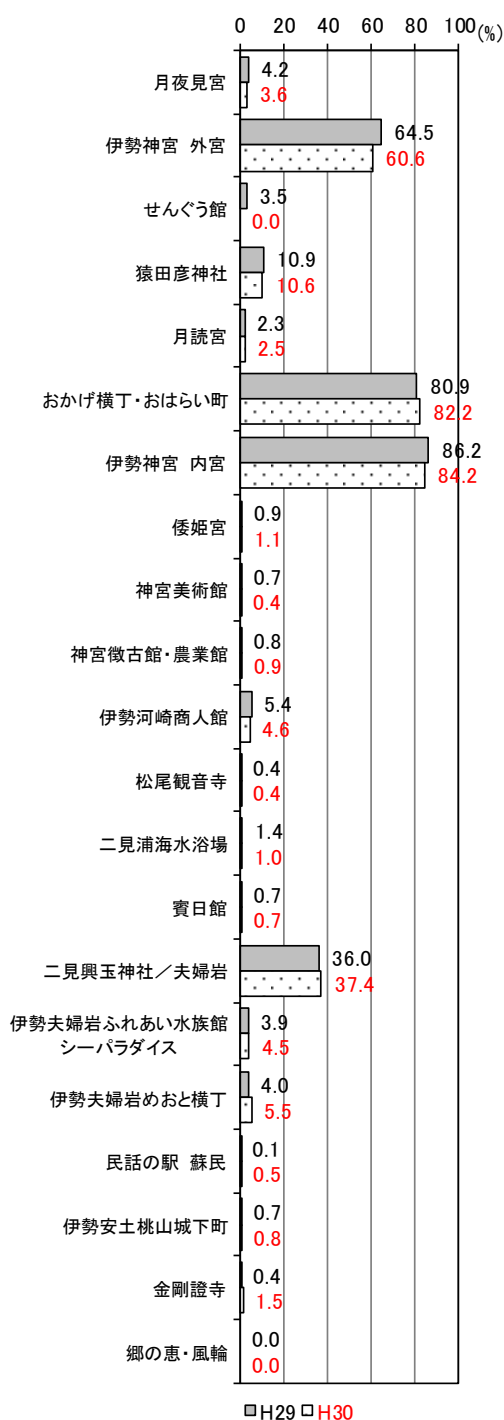
- ・「伊勢神宮 内宮」、「伊勢神宮 外宮」への立ち寄りが減少
- ・平均訪問観光地点数が 0.05 地点減少
- ・伊勢市以外への周遊が減少

①立ち寄った観光地

「伊勢神宮 内宮」が 84.2%、「おかげ横丁・おはらい町」が 82.2%で、約 8 割。

「伊勢神宮 外宮」が 60.6%で約 6 割。

平成 29 年と比べると、「伊勢神宮 内宮」、「伊勢神宮 外宮」へ立ち寄る割合が減少している。



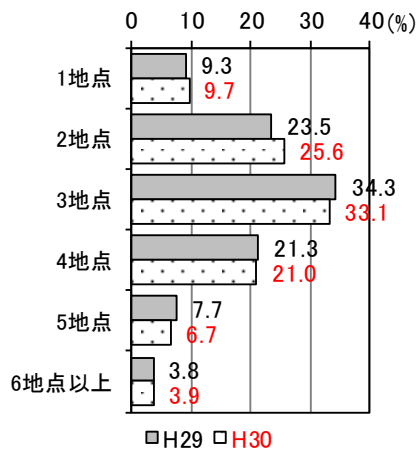
②立ち寄った観光地点数

「3地点」が最も多く33.1%、次いで「2地点」が25.6%、「4地点」が21.0%と続いている。
平均訪問観光地点数は3.03地点で、平成29年の3.08地点より0.05地点減少した。

③伊勢市以外に立ち寄った観光地

「なし」が最も多く47.1%、次いで「鳥羽」が32.5%、「志摩」が18.6%と続いている。
平成29年と比べ、「なし」が3.1ポイント増加し、伊勢市以外への周遊が減少している。

■ 立ち寄った観光地点数



■ 伊勢市以外に立ち寄った観光地

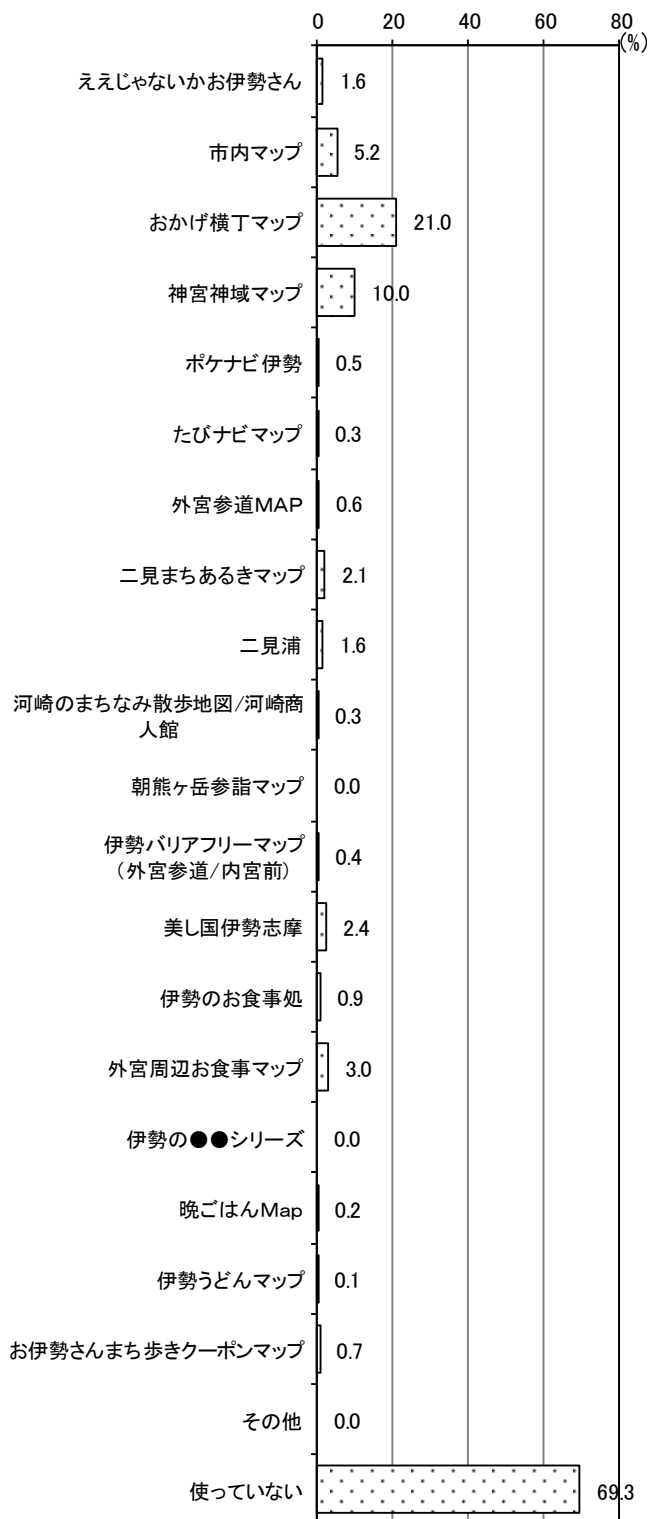


8. その他

- ・約7割の観光客がマップ・パンフレットを使用していない
- ・完全なキャッシュレス決済を行った観光客は1割に満たない

①伊勢市で使用したマップ・パンフレット

「使っていない」が最も多く69.3%で、約7割の観光客がマップ・パンフレットを使用していない。



② 普段と今回の旅行での支払い方法の違い

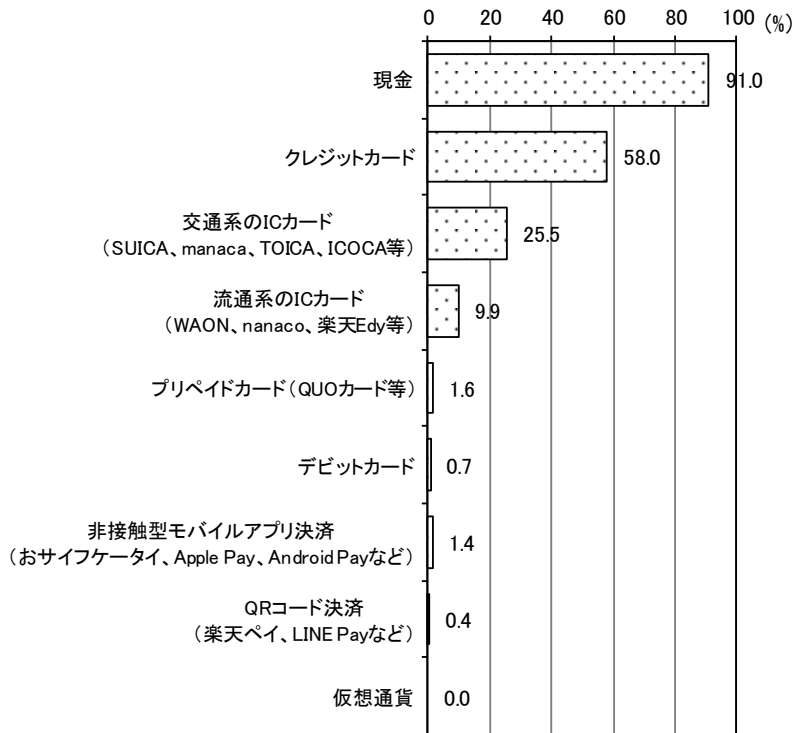
普段は「現金」が最も多く 91.0%と約 9 割、「クレジットカード」が 58.0%で約 6 割。

今回の旅行でも「現金」が 92.9%と最も多く約 9 割。

「クレジットカード」と「交通系の IC カード」は、今回の旅行では普段の約半分の使用率。

その他の支払い方法は、普段が 1 割以下であり、今回の旅行ではほとんど使用されていない。

■ 普段の支払い方法



■ 今回の旅行の支払い方法

